

第5学年社会科 学習指導案

指導者 柳本 美緒

1 単元（題材）名 わたしたちの生活と食料生産

2 本単元（題材）の目標

(1) 食料自給率や輸入など外国との関わり、食の安全・安心への取組などについて、地図帳や地球儀、各種の資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、食料生産の課題を理解できる。

〔知識及び技能〕

(2) 食料自給率と食生活の変化を関連付けたり、食料生産について学習してきたことを総合したりして食料生産の課題について考え、学習したことをもとに、消費者や生産者の立場などから多角的に考えて、これからの農業や水産業の発展について考え表現できる。〔思考力、判断力、表現力等〕

(3) これからの食料生産について、予想や学習計画を立てたり、学習をふり返ったりして学習問題を追究し、解決しようとしている。〔学びに向かう力、人間性等〕

3 単元（題材）の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>知① 食料生産に関わる人々は、生産性や品質を高めるよう努力したり輸送方法や販売方法を工夫したりして、良質な食料を消費地に届けるなど、食料生産を支えていることを理解している。</p> <p>技① 地図帳や地球儀、各種の資料で調べ、まとめている。</p>	<p>思① 生産の工程、人々の協力関係、技術の向上、輸送、価格や費用などに着目して、食料生産に関わる人々の工夫や努力を捉え、その働きを考え、表現している。</p>	<p>態① 我が国の農業や水産業における食料生産について、主体的に問題解決しようしたり、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとしたりしている。</p>

4 単元について

(1) 教材（題材）観

本単元は、学習指導要領第5学年の内容（2）イの「生産物の種類や分布、生産量の変化、輸入など外国との関わりなどに着目して、食料生産の概要を捉え、食料生産が国民生活に果たす役割を考え、表現すること」を通して、「生産性や品質を高める工夫を消費者や生産者の立場に立って多角的に考え、これからの農業や水産業における食料生産の発展に向けて自分の考えをまとめることができるよう指導する」ことを受けて設定したものである。我が国の食料生産の現状を把握し、食料生産に関する課題を見だし、今後の食料生産の在り方や新たな食料生産の方法について自分の考えをもつことをねらいとしている。

(2) 児童観

本学級の児童は、社会科の学習に対して意欲が高い児童が多くいる。しかし、社会科の学習内容に関心がない児童や授業が面白くない、授業の内容をあまり理解できない、と感じる児童もおり、社会科の学習に対する意欲や理解が二極化している。また、食料生産に関する事前知識も、既習事項である地産地消の意味を理解している児童は半数以下であった。また、食糧自給率については誤答の児童がほとんどであった。これらのことから、社会科への関心や意欲をもっている児童と関心が低い児童の二極化が進み、知識・技能の定着にも差が開いていることがわかった。また、質問への未回答も多いことから、知識を習得しても言語化できない児童もいると考えられる。

(3) 指導観

本単元では、二極化している児童の関心を喚起し、すすんで学習課題に取り組む姿勢を養うために、児童の関心に沿った学習課題の設定を行う。授業の導入場面で児童の関心を高めるために、実物教材の活用や児童の知識とのズレを作るような問いかけを行うことで、疑問をもって課題に取り組めるようにする。また、児童の中から出てきた疑問を集約して単元を貫く学習課題を設定する。これらの活動を進めるうえで、実際にICTを使った農業を行っている「**ちゃんファーム」を取り上げることで、身近な話題として考えられるようにする。

5 単元（題材）の指導計画（5時間扱い）

○指導に生かす評価

◎記録に残す評価

次	時	学習内容・活動	知	技	思	態	評価方法・留意点等
1	1	<p>課題 日本は国内での食料生産を増やす必要があるのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 国ごとの食料自給率を比較したグラフを提示して、日本の食料自給率が諸外国と比較して低いことに気付かせる。 食料自給率が低い理由や食料を輸入することのメリットとデメリットについて比較して検討することで、食料生産を国内で行ったほうが良いのか、輸入を積極的に進めていくべきなのか、自分の意見を根拠に基づいて考えてスタディノートにまとめる。 				○	<p>態①：スタディノートに記入することができていない児童を見取り、箇条書きでもよいなどの指導を行う。 【観察】</p>
	2	<ul style="list-style-type: none"> 日本の食料生産について、自分の立場をその根拠を明らかにして話し合いを行うことで、現在の日本の農業が抱えている課題を明らかにする。 つくば市で実際に日本の農業の方法を変えようと取り組んでいる農業法人の例を示すことで、自分たちにも日本が抱える課題についてできることはないかという考えをもつようにする。 <p>単元を貫く課題 つくば市の農家は日本が抱える食糧生産の課題にどのように取り組んでいるのだろうか。</p>	○			◎	<p>技①：日本の食料生産の課題に関する記述について見取り、身に付いていない児童にはグッドモデルを示す。 【スタディノート】</p> <p>◎ 態①：日本の農業生産が抱える課題とつくば市の農家の取組を関連させて、自分たちにはできることはないかと考え、具体的に予想を立てることができる。 【ワークシート】</p>
2	3	<ul style="list-style-type: none"> 日本の農業が抱える課題に対する取組について調べる。 <p>問題 日本の食料生産が抱える課題を解決するための具体的な取組は何だろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 食の安心安全を確保するためにトレーサビリティという取組を行っていることを調べる。 地産地消という取組を通して、地域の農業振興を行っていることを調べる。 <p>まとめ 日本では、食料を安定して確保するために、地産地消やトレーサビリティなど食の安心安全を高める取組をしている。</p>	○			◎	<p>知①：トレーサビリティや地産地消の意味や意義を調べ理解しているかを見取り、難しい児童については、図やイラストを用いて理解できるようにする。 【ノート】</p> <p>技①：実際に日本や外国で行われている実践例と成果を調べ、難しい児童には、取り扱っているWebページを提示する。 【ノート】</p>
3	4	<ul style="list-style-type: none"> つくば市で持続可能な農業に取り組んでいる「**ちゃんファーム」での取組をインタビューする。 <p>問題 つくば市の**ちゃんファームでは、日本の農業の課題を解決するためにどのような取組をしているのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> **ちゃんファームでの取組について、**さんから説明を聞く。 				○	<p>態①：**ちゃんファームの取組について気付いたことや疑問に思ったことを解決しようとしているかを見取り、質問することが難しい児童は事前に質問を送付しておくなどして、解決できるようにする。 【ワークシート】</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・**ちゃんファームでの取組について、疑問に思ったことについて質問する。 				
5 本 時	<p>目標：つくば市の農家の取組を今後どのように発展させていったらよいか考える。</p> <p>1 **ちゃんファームでの取組を振り返る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>問題</p> <p>つくば市の農家の取組を今後どのように発展させていったらよいだろうか。</p> </div> <p>2 個人で、今までの授業を振り返りつくば市の農業が日本の農業が抱える課題を解決するために行っている取組に加えて、さらにできそうなアイデアを出す。</p> <p>3 グループごとにアイデアを話し合い、アイデアの良さや課題、新たな考えについて話し合う。</p> <p>4 学級全体で班ごとに話し合った内容を発表する。</p> <p>5 まとめ、振り返り</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>まとめ</p> <p>つくば市という地域の特性を農業に取り入れるとともに、地域の良さを発信し、農産物を有効に使う方法を考える。</p> <p>振り返り</p> <p>農業は自分たちとは関係のないことだと思っていたが、日本の農業が抱える問題を解決するために自分にもできることがあるとわかった。</p> </div>	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・**ちゃんファームでの取組を確認することで、これまで実践している取組を明確にして、現在のつくば市での取組にない部分を明らかにする。 ・最新の農業技術や取組を紹介しているホームページを参考資料として提示し、調べる内容を明確にする。 ・茨城県の生産者が行っている取組を紹介するホームページも示すことで、最新の技術ではなく工夫次第で比較的手軽に始めることができる取組も提示する。 ・記録用のワークシートは取組と、その理由を記入する欄を分けることで、根拠を明確にして記入できるようにする。 <p>思①：つくば市の農家の取組を今後どのように発展させていったらよいかについて、具体的な根拠に基づいて表現することができる。 【ノート】</p>		